

古き回想と新らしき感想

野 口 幽 香

また春が来ました。新年になつて御芽出度いか、嬉しいとか云ふやうなことは、私どもの齡には、もうなくなつてしまひました。けれども、さういふ意味ではなく、それと違つたいろ／＼の感想なり回想なりが浮んで参ります。去年の中に、あれを斯うしようと思ひましたことも、いろ／＼な障碍や、自分のおこたりの爲めに、そこ迄に到らなかつたことも、今年からは斯うしやうと思ふことも多く御座いますし、過ぎ去つた自分の生涯も、いろ／＼な意味で考へられて参ります。水の泡のやうに消えて行つた自分の過去を振り返ることが、これから進まなければならぬと云ふことに、どんな意味があるでせうか。人は過ぎ去つたことを振り返つて居る間は、前へは進まれないも

のだと申される人も御座いませうけれども、私は強ちさうは思ひませぬ。自分の前半生を、ちやうど晝に描いた餅に見とれて居りますやうに眺めてばかり居ましたとすれば、それは自分にも人にも何の役にも立ちますまいけれども、眞面目に自分と云ふものを考へて、これから進まうとする道に計るには、どうしても自分の過去を考へて見る必要があると思ひます。さうすることが、何等かの意味で自分を幸福にする點がキツとあると思ひます。

前に申しましたやうに、私どもの齡になつてはもう生な水々した心持ちで、新しい春の自然を謳ふと云ふやうなことは、もう出来なくなつて居りますから、せめては、斯う云ふ心掛けで、自分の

半生を振り返つて見度いと思ひます。それが人様には、どれだけ利益になるかは申されませぬが、少くとも私自分だけには、何等か意味のある事のやうに思はれるのであります。

* * * * *
私が初めて幼稚園教育と云ふものに携りましてから、もう二十年になります。二十年と一口には申しませんが、年にしますれば、随分、久しい年月と申さなければなりません。それも其の筈、小學生であつた子供が、二十年の間には、もう立派な博士にも御なりになる年月で御座います。實際私の御世話したお坊ちやまが、もう今は醫科大學で脈をとつて居る人もあります。商業教育に従事して居る人もあります。それから御役人や、軍服の嚴めしい士官になられましたり、又、洋行なすつて居られる方々も御座います。女子の方々に就いて申ししても、私の御世話申したお嬢さま

の御子が、今また幼稚園へ御入りになるやうな有様で御座います。

斯う云ふ事實に、目の邊り接しました時に、私自身の心には、どう云ふ感想が起きて來ますでせうか、成る程、幼兒教育と云ふ自分の仕事の上から考へましたならば、長い年月を犠牲にして來ました自分の努力の、決して無駄ではなかつたことが泌々と喜ばれます。然しこれを離れた一個の人としての自分を考へて來ますと、どんなに深く刺戟されることが多いか知れませぬ。

幼稚園教育と云ふ單一の仕事に、二十年の前半生を費して來ました其の間が、どんなに永かつたか、そして其の仕事が、どんなに單調でしたか、年中同じい蝶々風車で過して、それが二十年も續いたと申す外に、何の複雑な思ひ出もない貧弱な生涯を考へずには居られませぬ。

斯う云ふ感想を持つと云ふことは、自分の天職

として居る仕事に對して、何とも申譯のないこと
と十分承知して居ります。併し心の底には、ど
こかさう云ふ慎みのない不安な心持が浮んで來
るので御座います。それが人間と云ふもの、到ら
ない處で御座りませうが、斯うして自分で自分
を持て餘す事さへもあるので御座いますから、こ
れが第三者から見ましたならば、どうで御座いま
せう。たいく無能と云ふ二字の外には、私に與
へられる批評はありますまい。若し彼の人が偉い
人だつたら、もつと大きな仕事が出来たらうに、
あの人ももう少し力があつたら、もつと違つた
道に行くことも出来たらうに、と云ふやうな憫み
と冷笑との言葉がキツと私の上に、ふりかゝつ
て來るに違ひありますまい。實際、私自身にも、
さう思ふことが多いのであります。

然しながら、前に申したやうな悔悟が、今の私

に宿つて居る心の總だとは申しませぬ。翻つて、
これまで二十年の久しい間に、私がどう云ふ心持
ちで幼稚園教育と云ふものに從つて來ましたか、
こゝに思ひ到ります時に、先きに申したやうな不
安なり悔悟なりの情が、洗ひ去られたやうに私の
心から拭はれて行くやうな感じが致します。と申
しますのは、幼稚園教育と云ふものは、眞に私の
天職である。自分の全生涯をこれに捧げることが
私の使命であるといふことが、絶えず私の胸
に宿つて居たのであります。成る程、私のなして
來ました仕事の結果から申しますと、極めて微細
な、かれこれ云ふ程なものではありませぬ。私の
やうな者が幼稚園教育の上にあつたとか、なかつ
たとか云ふことは、何の問題にもならない程に反
響のないものであります。それを考へます時に、
結りは先きに申した不安なり悔悟なりが起つて參
りますけれども、それは私の力の足りない爲め

で御座いますから、どうにも仕方が御座いませぬ
たい、それに對する時の態度なり、心持ちなりが
自分だけには幾分眞面目であつたと云ふことが、
私の一いちばんおほ番多きな力であります。

これまでに、私に對して、何か他の職に轉じ
てはどうかと云ふ人も御座いましたのですが、を
こまがしいやうな言分ではあります、私には、
むげにそれを御斷りするだけの自信があつたので
御座います。そして學校卒業後今日まで、これに
従ふて參りました。今後も矢張りこの道を走み度
いと考へるのであります。これからは貧民の子供
達を御世話するか、それとも貴族の方々を御世話
しますか、それは判りませぬけれども、兎に角、
幼兒教育に今後の余生を捧げやうと云ふ覺悟は、
昔も今も一であります。

人は自分の携つて居る仕事の上には、其の日其

の日だけでも自分の心に満足し得るだけの成績を
揚げて行き度いと思ひます。然しそれが非常に困
難な事柄ことづねとしか思はれないのであります。

私が幼稚園教育に携つて來ましてから、二十
年にもなるのですから、これには相應の経験もあ
ると思ひます。單に其の年數の上から云ひまして
も、決して経験がないとは申されませぬ。それだ
けに毎日學校へ出て參りますと、其の日々のし
なければならぬ仕事しごとが、ちやんと頭へ浮んで來
て、手は知らず／＼に其の方へ向いて行きます。
それから絶えず起つて來るいろ／＼の問題に對し
ても、それ／＼臨機な處置をとるだけの用意が自
分の頭について居ります。これは一方から申しま
すと、熟練の結果で、これが二十年間の努力から
得た唯一の酬たとも申されませう。然しまた一方
から考へますと、これは非常に危険な習慣だと云
はなければなりません。

何故これは危険かと申しますと、斯う云ふ習慣がつくと云ふことは、即ち頭が傳習に囚はれて居ると云ふことであります。其處から前に進まうとする研究心が失はれて行く恐れがあるからで御座います。それでなくても、女には研究心がないと云ふことは、男の方からよく云はれる事柄であります。まして、私もまた、さう思ふので御座います。

幼稚園教育が他の教育に後れて居ると云ふことは、事實であらうと思ひます。その後れたと云ふのは、困難な幼稚園の教育を女ばかりに任せて置いた爲めではありますまいか、斯う申すと、少し出過ぎた言葉のやうに思はれますけれども、それが恰度自分の責任のやうに思はれるのであります。これ程永い間、此の仕事に従事して來ながら、何一つ著しい仕事をしたこともありません。自分のこれまで研究して來ました事柄に就いては、何

か一つ位の自信ある報告なり發表なりがあつてもいいと思ひますのに、それもありませぬ。

それから、幼児教育者として一番大切な、温かいやはらかな愛が私に乏しい爲めに、折角の天職として居る自分の仕事に、満足を得られないと云ふやうなことも、私の後悔の一であります。

それでは、それ程に後悔ばかりが多くて、満足のない仕事ならば、もう捨て、仕まつたらどうかと云ふ人もあるでせう。然し私には、それが出來ないのであります。私は幼児教育に對しては、もつと深い執着があります。こゝに私の心に不安が起つて參ります。私はどうして此の不安を除き去らうかと考へます時に、一番苦められますのは、自分に研究心の薄いと云ふことで御座います。

それから、私は原書は讀ませぬ。初めは原書を讀めない位で何が出來やうかと思ひまして、非

常に自分の前途を悲んで居ましたけれども、今では、さうは思ひませぬ。今日では私等の讀まなければならぬ本は、立派に日本の文字で出来上つて居るのでから、それに依つて學べば結構だと思つて居ります。嘗つて「婦人と子供」に「適當な書物」と云ふ題で、私等に利益になる本の名が掲げられてありましたが、あれだけの本を眞面目に讀むことが出来ましたならば、どんなに自分の頭が豊富になるか知れないと思ひます。

次に、雑誌で御座います。これも今少し眞面目に讀む心掛けがあり度いと自分思ふのです。どんな雑誌を見ましても、どんな會に出ましても、これは無益だと思ふことが、これ迄に一度もなかつたことを、私だけは實驗して居ります。これまでは「婦人と子供」なども、來たまゝに封も切らない事もありましたが、此頃、よくない事だと考へまして、讀んで見ますと、なか／＼有益な記

事が多いので御座います。その中でも「机邊だより」の欄に載せられて居ります記事は、どんなに知識に飢ゑた私の心を喜ばすか知れませぬ。今では、毎月これを心待ちにして居るやうな譯で御座います。その他、専門が、つた演說會などへは努めて出るやうにし度いと思つて居ります。斯うして僅に私の進歩を助けて行き度いと思ひます。私は此の上世間から遠ざかつた、時代晩れの人となつてはならないと信じて居ります。

* * *
一方では、私自身の性格の向上、これも自分にはどれだけ多く骨を折るか知れないので御座いますけれども、なか／＼思ふやうには參らないもので御座いまして、それがまた非常に心苦しい事の一であります。毎日、斯うして大切な、一粒選りの子供達を預つて居まして、自分の不注意から、若しもの手落ちがあつたとしたならば、どうで御

座いませう。私は自分の預つて居る子供を、どうかして、よく愛し、よく教へ、よく導くことが出来るやうに、そして自分の天職に忠實であるやうに毎朝祈つて、漸く其の日を過して居るやうな譯で御座います。

皆様にも、私と同様な感想を御持ちになつて居られるか、どうかは知りませぬけれども、どうせ微力な私等には、表面に現はれるやうな著しい

冬季と子供の衛生

醫學士 唐 澤 光 徳

此の頃、小兒の強壯と云ふことが、大分はやつて來まして、成るだけ子供を平生から強壯にして置く、結り寒風に慣せたり、薄着をさせて置いたりするやうなことが、其の目的の爲めに勵行されて居るやうであります。これは吾々小兒科から云

仕事は、さう易く出来るものではありません。たゞ自分の行くべき道を考へ、自分を守つて、其の仕事に忠實な心掛けを持つことが、私等には一番大きな仕事と考へるのであります。

これが私の取り留めのない懺悔で御座います。何か御話しせよと云ふことでしたが、別に大した考へもありませんので、これを申上げた譯で御座います。(文責在記者)

ひますと、大分其の濫用があつて、其の爲めに反つて悪い弊害を醸して居るやうな點がないとは云へないのであります。其の重なる二三を申して見ますと。

第一 冷水摩擦法と冷水浴